

J A R L

香川クラブ報

No. 456 令和6年8月15日



J A 5 Y D E

J A R L 第 1 3 回定時社員総会

JH5LYW

6月23日(日) [J A R L第13回定時社員総会]が、東京西新宿“ベルサール西新宿”において開催されました。

昨年は病気治療中のため社員総会への参加が叶わず出席を見送りましたが、高尾前会長の総会前夜の職務放棄ともいえる突然の辞任から端を発し、後味の悪い総会であったようです。

今回の総会は理事および社員選挙の年であること。

それに加え、高尾前会長の私的飲食費問題、裁判所判決(会計帳簿開示命令)を不服として私的上告のための弁護士費用問題、前専務理事日野岳氏への会長加算による退職金の大幅上乗せ、自己主催のクラブへの経費流用など使途不明金(社員有志による過去7期分の会計帳簿を精査した事実)の総額13,943,535円(本人から説明の無かった金額7,639,285円)をJ A R Lの運用資金から支出させ、J A R Lに多大な損害を与えました。

その他パワハラ・暴力行為・見栄や虚栄心のため総務省への付け届け(総務省から叱責)など枚挙にいとまの無い出来事により、理事並びに社員有志によってJ A R L会員除名が議題として提出されており総会が長引くことが予想され覚悟して臨みました。

総会は手順を経て成立し予定通り開催されました。

議案審議に先立ち、今回問題となっている事柄について高尾前会長に弁明の機会を与えるということで場を設けたところ、あにはからんや本人が堂々と現れ一方的に、・・・に



ついては事実ではありません、私の一存では無く理事会に諮って支出したものです、記憶にございません、事務局から稟議が提出されたから押印ただけです、私的流用と言うが監査でも指摘されたことはありません、不正があると言うなら告訴でも何でもしてください等々。

昨今、国会を含め組織を代表する人たちが責任転嫁をまくして、自身を正当化する風潮そのままでした。

しかも同じ文言を繰り返すので議長から弁明の時間を区切られると、「弁明の機会と言うならなぜ時間制限を設けるのか」と居直り、挙句には「定款の“弁明の機会を与える”ということで出席したが、証人尋問を受けるつもりはない」と捨て台詞を吐いて議場からさっさと退出してしまい、何ともやりきれない気持ちになりました。

高尾前会長の問題行動については、SNSやJARLニュースなどで指摘されていますので皆さんで判断してください。

その後、議事に移り第1号議案、第4号議案と審議され賛成多数で成立されました。

休憩を挟んで、関連議題として第2号議案と第3号議案として高尾前会長のJARL会員除名について同時に審議され質疑に移りました。

高尾前会長の擁護する社員はともかくとして、一部の社員から、前会長の功労は従来の会長では成しえなかつた業績が多大であるとか、本当に不正があるのなら告訴して法廷で解決すべき、JARLの組織特に監事や事務局に責任があるのではないか、そんな大きな問題が今まで見過ごされてきた責任の所在を問うべきなどの除名反対意見が述べられました。

何をしたから除名議案が出されたのかと言う現実を見ようとせず、業務上横領ともいえる事実から目をそらし本末転倒の意見が見受けられました。

会員除名に関する事項なので社員総数134票中2/3以上の賛成が必要のところ、反対40票・保留9票・総会欠席者4票・賛成が81票で除名は否決されました。



続いて、第3号議案が審議され理事17名および監事2名の可否が採決され、高尾前会長及び榎木沢東北地方本部長（自身が運営するレピーターの運用方法について、小学生の女児に対して一方的に罵詈雑言を浴びせ恐怖を与えたなど諸々）が否決されました。

総会後に開催された理事会において森田四国地方本部長が会長に選任され2年間の任期を務められることになりました。

当初懸念されたとおり総会終了は18時38分で、終了予定時間はもちろん従来の総会終了時間を大幅に超過しました。

JARLが一般社団法人になってから10数年が経過し、一社員として参画し見守ってきましたが趣味の団体として本来あるべき姿勢がおざなりにされ、毎年総会の都度特定の理事や社員に対する個人攻撃に多大なエネルギーと時間を費やし、JARL組織のメリットと意義が見い出せなくなり嫌気がさしている会員も少なくないのではないかと感じています。

森田会長には、一日も早くこの事態を収め趣味の団体本来の方向に向かえるようリーダーシップを発揮していただきたいと切に願っております。

趣味の多様化や高齢化、インターネット等の電子化など、アマチュア無線だけでなく何の分野・組織においても従来の考え方、やり方では衰退の一途を辿るだけです。

7年もの間、たかり疑惑や理事・事務局への恫喝、会計帳簿開示拒否、自己保身のための弁護士費用の支出、総務省からの叱責など単発的に指摘されていたにもかかわらず前会長の不正を見過ごしてきた組織としての体质改善と会員が何を求めているのか、意欲向上への道しるべなど建設的な意見を述べ合う総会であることを切望してやまないのですが、何か良い知恵は無いものでしょうか。

何時でも結構ですので、要望や意見などどんな些細な事でも結構ですのでご連絡ください。

理事・社員は、2年ごとに選挙が実施され、次回は令和8年に改選されます。

我と思われる方や役員として活動してみたいと思われる方はぜひ立候補するなり、ご相談ください。

フィールドミーティング開催の報告

JG5JXW

猛暑が続く中、フィールドミーティング開催の日となりました。昨年より暑さがこたえているのは、体感だけでもなく事実気温も上がっているような気がします。そんな暑さを忘れるフィールドミーティング開催です。

まずは、クラブシャックから JA5YDE を運用します。昨年同様 IC-705 を持ち込んで運用を始めました。7MHz の CW から始めると、1回の CQ でいきなり応答があり幸先の良いスタートが切れました。その後も 2~3 分に 1 回位のペースで応答がありましたが 30 分ほどでパッタリと応答がなくなった。この所の 7MHz のコンディションにしては良い方かも知れない。この日は「2mSSBQSO パーティー」のようなことも開催されており、ちょうどフレンド局がでておりましたのでサービスも兼ねて JA5YDE で交信しています。その後 21MHz の CW でも CQ を出して、6,7,8 エリアと少しですが交信できました。今回は 430MHz の FM でも 2 局交信しています。IC-705 は 10W 運用でしたがそれでもそれなり数の交信ができる良かったです。

15:30 になり、そろそろ準備を始めるため片付けていると JH5LYW 三好さんがシャックに来られました。備え付けのリグのパドル用変換ジャックを交換されて、シャックのリグからでられるようになりました。せっかくですからそのリグから 7MHz の CW で CQ を出し始めました。しかしながら応答がない。そろそろやめようと思ったら 1 局応答があり、その後はパタパタっと応答が有ったかと思ったら、突然パイルが始まりました。どなたかが J-クラスタにアップしてくれたようです。約 30 分パイルと格闘。普段 PC キーイングになってしまっている私には少々辛い格闘になりました。

16:30 を過ぎたところで今度こそ BBQ 準備のために終了しました。
結果は 7MHz : 32 局 21MHz : 5 局 144MHz(SSB) : 1 局 430MHz(FM) : 2 局 でした。

外に出ると、JA5CAU 平井さん、JA5TOP 平賀さんが到着したところでした。途中で合流して買い出しまで済まされたようです。氷を買い忘れたと言うことで、私と平賀さんで買い出しに出かけました。戻る頃にはもうお肉が焼けていました。さすがです。



手羽先を焼くCAUさん



美味しいお肉たち

参加予定者全員が集まったところで記念撮影をし、日が傾き始めた頃にカンパイ！



歓談のひととき



最近入会した JJ5SGZ 山崎さんも歓談

JI5SAO 丸山さんから、鰻重やたこ焼きの差し入れがありました。お肉を食べている間にも CAU さんが美味しい焼きそばを焼いてご馳走を提供してくれます。



焼くばっかりで休まない CAU さん



絶品焼きそば



美味しいお肉とビールもどき

この日の終盤は、なぜか火葬場の話や土葬の話で盛り上がった不思議なフィールドミーティングでした。たまにはこんな事もあるでしょう。
21:30 を過ぎるまで楽しいひとときを過ごしました。来年も開催されると思います。皆さんご参加をお待ちしております。

[参加者] JA5BNY／JA5CAU／JA5IJL／JA5TOP／JA5UVT／JG5JXW／JH5LYW／JI5SAO
JJ5CAE／JJ5SGZ (計 10 名)

CD プレイヤーの修理

JI5SAI 平田昌三

元々音楽が好きで、学生時代は吹奏楽部やオーケストラに所属していました。それゆえオーディオにもちょっとしたこだわりがあり、ラジカセではなく、プレイヤー、アンプ、スピーカーを別々に揃えています。

CD プレイヤーは、SACD という音質のいい CD 再生に対応したもの 2005 年ごろに購入したのですが、最近うまく CD を読み込んでくれなくなりました。

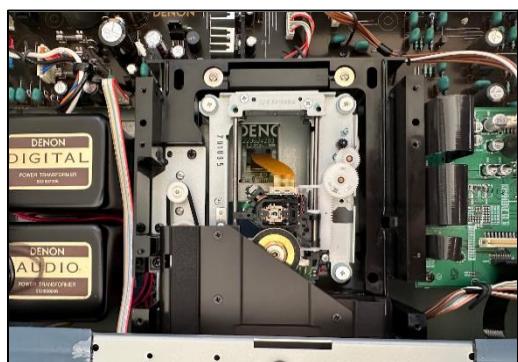
今は当時と違い、修理に挑んだ猛者の記録がネット上にあふれています。これらを眺めていると、どうやらレーザーピックアップがヘタっているらしいとのこと。



← 早速この機種に適合するピックアップをネットでポチります。お値段約 2,000 円也。

↓ 上蓋を開けて修理に臨みます。さすがメーカー製、基盤処理がとてもキレイ。

↓ 無事に読み込んでくれるようになりました。同じ値段で同じクオリティの製品はもう手に入らないので、20 年選手ですが、もう少し頑張ってもらおうと思います。



高周波、低周波、という違いはありますが、オーディオ機器は無線機と共通の要素が多くありますね。

2024 ALL JA5 コンテスト参戦

JG5JXW

7月20日からALL JA5コンテストが開催され、私は21MHzの電信部門でエントリーしました。よりよいローケーションからよりよいアンテナを使って運用することを目的に、いつもの五色台中山休憩所からの運用です。6時過ぎに自宅を出発したけれど、アンテナ(2エレのHB9CV)の設置には2時間ちょっとかかってしまい、リグの設置が終わる頃には9:00を過ぎてしまいました。開始早々の21MHzはジャンジャン呼ばれて快調！快調！パイルにもなって嬉しい悲鳴！！しかし！薄々予想していたとおりで、1時間ちょっと過ぎたらパツタリ呼ばれなくなってしまいました。と、いうのも前日の土曜日夜も最初は調子よく呼ばれていたのに1時間経過するとパツタリ呼ばれなくなってしまったためです。

結局目標にしていた6,000点には遠く及ばず、1,890点とふがいない成績に終わりました。来年も同じ部門で再挑戦します。賞状をもらえるまで粘りますよ～～～



コンテスト参加報告

「JA5YDE」がオールJA5コンテストに参加しました。

オールJA5コンテスト(7/20~21)

バンド	交信局数	マルチ
3.5MHz	118局	37
7MHz	202局	43
14MHz	28局	20
21MHz	9局	8
28MHz	1局	1
430MHz	1局	1
合計	359局	110
得点	39,490点	
総交信局数	363局	
O P : JA5CAU、JI5XTP		

JARL主催コンテスト

JARL主催コンテストその他クラブ対抗部門があるコンテストに参加した時には、サマリーシートの登録クラブ対抗欄に

登録クラブ番号	36-1-1
登録クラブ名称	JARL香川クラブ

と記入するようお願いします。

個人のアクティビティー向上とクラブの活性化のため、どしどしコンテストに参加しましょう。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。

原稿サイズ：B5サイズ　出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送付先：E-mail

Fax

郵送先：〒

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成 76 年(1948 年 10 月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

J A R L 香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があつたり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三好	伸幸
編集者	J A 5 T O P	平賀	正明
	J I 5 S A I	平田	昌三
	J I 5 V U Z	市原	義博
	J I 5 X T P	坂内	信洋
	J G 5 J X W	坂井	進史